

第14回「雪の学習」研究会報告

主催者名： 北海道教育大学・北海道雪プロジェクト・札幌市立新琴似緑小学校

後援者名： 北海道教育委員会 札幌市教育委員会

実施日時： 2016年1月29日（金） 13:00～16:45

実施場所： 札幌市立新琴似緑小学校 札幌市北区新琴似10条11丁目

実施目的： 『雪』は単に自然環境として存在するばかりでなく、日々の暮らしひいては文化にも多大な影響を与えており、地域の特色を活かした最適な教材であり、教育現場での活用が望まれる。本研究会では、雪の実践をどのように進めていくか、公開授業等を通じて考える。

参加者数： 87名

- 概要： (a) 公開授業「雪の結晶のひみつをさぐろう」（3年）は身近な雪の結晶形の観察を通して、子どもたちの雪を見る視点を変え、そのおもしろさや不思議さに気付かせるものである。公開授業「伝えよう！ 雪の学習プレゼンテーション」（6年）は校区の除雪の実態を調査し、除雪のあり方について考え、その学びを家族や地域に発信していこうとするものである。授業後、授業に関する検討・討論を行った。雪プロ提案では「カードゲームで楽しむ雪の学習はじめの一步」と「テキスト『利雪について考えよう』活用法」を行った。前者では、新たに開発した切り抜き型カードゲームテキストを紹介した。また、会場内にコーナーを設置し、雪のおすすめ本を紹介した。
- (b) 事後アンケートに依れば、研究会の満足度は5段階評価で4.6、取り上げた内容を授業でやってみたいかも4.8と好評であった。
- (c) 「授業プラン集 Vol. 2」やテキスト「雪の学習トレーディングカード」、「雪の学習プレゼンテーション 2」、「雪は自然エネルギー」等を配布し、教育現場での活用を促した。
- (d) 本研究会については北海道新聞1月23日朝刊（「雪の授業 いろいろ」）及び北海道新聞1月30日朝刊（「雪が教材 授業公開」）で紹介された。

参加者感想例：

- ・初めて雪に関する授業を参観でき、とても新鮮に感じた。（小学校教諭）
- ・雪の結晶は降雪量に少ない釧路でもできると思います。冬に親しむのに雪が良いきっかけになりそうです。（小学校教諭）
- ・札幌市で教員として働く予定なので、雪の学習について知りたいと思っていました。雪の学習をする意義を考えることができる内容だったので大変勉強になりました。（大学生）